

令和2年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会 事業報告

(1) 総括

令和2年度は新型コロナウイルスの対応に始まり、その終息の見通しもつかないまま終わった1年ではなかったかと思えます。生活福祉資金特例貸付の対応やそれに付随する生活上の課題に対する支援。それと並行しつつ、新しい生活様式により人と人との関わりを制限された中での地域福祉活動。様々な矛盾や制限の中で社会福祉協議会の在り方や地域福祉とはということ考えた1年ではなかったかと思えます。

福岡県内市町村社協によって構成される本会においても、会員である社協職員の先には地域住民や家族があるため、研修や情報交換の場を設定することが難しく、事業計画の全てを執行することはできませんでした。ですが、開催できた研修会には多くの方が参加していただき、やはり社協職員同士のつながりは皆求めているのではないかと感じられました。

各個人や各市町村社協だけでは乗り越えられない事態に、県内や全国の社協職員とともに挑むためにも、この地職連活動は県内の社協職員皆様の協力のもと継続していくことが必要であると考えます。

(2) 具体的な事業内容

【研修事業】

「先輩ワーカーから学ぶ研修会」(令和2年度地職連総会後の研修)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、総会を書面決議にて処理したため未実施。

「新任職員研修『社協人』への第一歩」

近年、行政からの受託事業増加に伴い、市町村社協では新たな職員の採用が増えています。新たに採用された職員は、社協人に求められている「社会福祉協議会の本質的なもの」を身につける時間もないまま、目の前にある業務にあたることで必死ではないかという職員が多いと思えます。今回の研修は地域福祉というフィールドで「社協職員としてどうあるべきか」という「心構え」や「姿勢」に焦点を当て、地域住民と一緒に活動できる仲間として認められる「社協人」になっているための研修を行いました。

▼日時/令和2年9月10日(木) 13時00分～17時15分

▼会場/クローバープラザセミナールームAB

▼対象者/社協職員(入職5年以内程度の職員)

▼参加者/47名(うち実習生5名)

▼講師/鞍手町社会福祉協議会 事務局次長 池本 賢一さん

「感染防止に配慮した『はなれていてもつながる地域づくり』について考える研修会」

新型コロナウイルス感染症により従来の地域福祉活動はもちろん社会参加や居場所づくり等の活動の実施が難しく、感染防止のため人と接触できない状況下において、どのようにコミュニティワークを実践すればよいのか、県内や全国の社協職員の課題となりました。コロナ禍で直接的に人と人が関われない中で感染防止に留意しながら新たな地域福祉活動の取組みとして「はなれていてもつながる地域づくり」の構築を視野に入れ、ワーカーとしてどのように住民相互による支え合い活動の支援を行えばよいのか、地域づくりの方法について考えることを目的として研修を行いました。

▼日時/令和2年11月12日(木) 13時30分～16時30分

▼会場/春日市ふれあい文化センター 大会議室

▼参加者/31名

▼講師/福岡市社会福祉協議会 地域福祉部長 藤田 博久さん

▼事例発表者/福岡県社会福祉協議会 地域課 川上 由美子さん
筑後市社会福祉協議会 総務福祉係長 卜部 善行さん
志免町社会福祉協議会 生活支援 Co 木村 理絵さん

「想いを形にするために～新たなアクションを起こすための研修会～（仮）」-----

※コロナウイルス感染拡大防止を考慮し未実施。

「“ともに”考え 地域福祉を“協働”する 研修会」-----

※コロナウイルス感染拡大防止を考慮し未実施。

【会議の開催】

■福岡県地職連令和2年度全体会議の開催-----

※コロナウイルス感染拡大防止を考慮し未実施。

■委員会・課題別会議・研修の開催および自主研修支援-----

「中堅社協職員研修委員会」

地職連役員会からの要請により、中堅社協職員向けの研修企画及び実施をする委員会を、旧地職連役員を中心に組織化。企画会議を重ね、研修会を開催しています。今年度の会議及び研修会については以下のとおりです。

○中堅社協職員研修委員会

第1回 日時/令和2年9月12日(土) 10:00-12:00

場所/志免町社会福祉協議会

内容/令和元年度事業の振り返りについて 今年度の研修事業について

第2回 日時/令和2年11月24日(火) 13:30-16:00

場所/筑後市社会福祉協議会

内容/研修事業について

第3回 日時/令和3年2月16日(火) 13:30-17:00

場所/筑後市社会福祉協議会

内容/研修事業について 次年度の事業について

○中堅社協職員研修委員会 主催事業「コロナ禍における社協活動の方向性」

新型コロナウイルス感染症に起因する外出自粛や新しい生活様式の実践等に伴い、生活は一変し、人と人とが関わり・触れ合うということが出来ない状況により、生活課題の深刻化や潜在化していた課題が表面化している一方、これまで通りの地域福祉活動ができない状況が続いています。しかし、この状況は新たな地域福祉活動を考え、推進できるチャンスと捉えることもできます。

このような中、地域福祉の推進をミッションとする我々社協職員はこれまでと違う状況で、何を考え実践につなげるのかを考える機会として下記の通り研修会を実施しました。

日時/令和2年12月6日(日) 13:00-17:00

場所/筑後市社会福祉協議会

参加者/17名 講師1名 報告者1名 計19名

内容/①報告「市町村社協への調査を通じて見えてきた現状と課題」

報告者:福岡県社会福祉協議会 地域課 主査 川上 由美子さん

②講演「コロナ禍における社協活動の方向性」

講師:九州大谷短期大学 教授 中村 秀一 さん

③分散協議

1. 「ユニバーサル就労」 2. 「コロナ禍における企業との連携」 3. 「特例貸付後の支援」

④協議内容の共有・まとめ 講師:九州大谷短期大学 教授 中村 秀一 さん

【広報事業】

■ 会報「まなこ」の発行-----

【発行月と発行月・内容】

No.88（令和2年10月） ・先輩ワーカーからのメッセージ ・新任職員紹介 ・地職連役員紹介 ・新任職員研修報告

No.89（令和3年3月） ・はなれてもつながる地域づくり研修報告 ・中堅職員研修報告

■ ホームページ・facebook の運営-----

facebook 等を通じ、研修等の情報提供等を行いました。

■ 全国社協職員のつどい参加促進-----

新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、開催延期。

■ 福岡県社協との連携-----

広域社協である県社協との連携を深め、意見・情報交換の場を設け、課題を見据えながら必要に応じ研修会の共同企画などを行っていきます。

■ 役員会の開催-----

第1回役員会（5/29） 場所：EIMアテイン博多駅前貸会議室 出席者：10名

内容：R2 総会について 事業報告分担、事業計画について

第2回役員会（6/26） 場所：EIMアテイン博多駅前貸会議室 出席者：8名

内容：主催研修について まなこの編集について

第3回役員会（8/31） 場所：飯塚市社会福祉協議会庄内支所 出席者：9名

内容：主催研修について

第4回役員会（9/10） 場所：クローバープラザセミナールーム 出席者：9名

内容：主催研修について

令和2年度臨時総会（9/10） 場所：クローバープラザセミナールーム 出席者：42名

議案：会長の選任について

第5回役員会（11/12） 場所：春日市ふれあい文化センター 出席者：10名

内容：主催研修について

第6回役員会（12/2） 場所：EIMアテイン博多駅前貸会議室 出席者：9名

内容：主催研修について まなこの発行について

第7回役員会（3/12） 場所：EIMアテイン博多駅前貸会議室 出席者：5名

内容：次年度事業について

R2年度監査（4/8） 場所：朝倉市社協 出席者：4名

▼日 時／令和3年7月

▼会 場／未定

▼対象者／社協職員

▼講師（コーディネーター）／未定

「住民の心を揺さぶるワーカー養成研修会（仮）」（中堅社協職員研修委員会との合同企画）

地域福祉活動を推進していく上では、住民との信頼関係の構築はもちろん、関心がない住民に関心をもってもらうことや、関心の高い住民のモチベーションをさらに高めるようなワーカーの関わりや働きかけが重要となります。

そこで今回は、住民からより必要とされるワーカーになるためにどのようなワーカー像を目指すべきかを参加者全員で考え、理想のワーカーに近づけるためのヒントを共有し、自身のスキルアップに活かせる場として本研修会を開催します。

▼日 時／令和3年11月

▼会 場／未定

▼対象者／社協職員 20名程度

▼講 師／基調講演およびグループワーク・個人ワーク

【会議の開催】

■全体会議の開催-----

地職連では研修事業や広報活動など『コミュニティワーク』にこだわった事業を実施しています。他市町村社協の活動や手法を知ることも必要ですが、どんな考えをもってその活動や事業に取り組むのか、といった議論を地元の社協内ですることがなかなかないという声も聴きます。外だから話せる自分の「考え方」を共有することで、新たな「考え方」が生まれてくることもあります。

考え方の整理や新たな視点などを同じ立場のワーカーから吸収し、考え方を固め、各社協職員が想いを語り合うことを目的として開催します。

▼日 時／令和4年3月

▼会 場／未定

▼対象者／社協職員

■委員会・課題別会議・研修の開催および自主研修支援-----

社協はその性質上、まだまだ日の目を見ていない様々な福祉課題に関わっています。しかし、先駆的に取り組んでいく上で「実際この方法で良いのだろうか」、「本当にこの人のための活動になっているだろうか」、「そこに社協ワーカーとしての視点が入っているだろうか」など様々な自問自答や戸惑いを感じている方も少なくはないのではないのでしょうか。

県内には同じような悩みを抱えているワーカーもいます。そこで同じ悩みを持つワーカー同士の情報共有、悩みの共有をする場として、必要に応じ委員会の設置や会議及び研修会等を開催します。

また、自主研修活動をより一層盛り立ていくために、地職連より助成を行います。助成条件は以下のとおりです。

※上限は1回あたり5万円とします。

【自主研修会助成条件】（以下の全ての項目を満たすもの）

- ①社協ワーカーの資質向上やつながりづくりを目的として開催されること
- ②参加の呼びかけは地職連 Facebook 等を活用して県内全体に行うこと
- ③開催要項（案）と予算（案）を開催日1か月前までに会長に送付し、承認を得ること。
- ④研修参加者が3社協6名以上であること。

「中堅社協職員研修委員会」への支援

地職連役員会より中堅社協職員向け研修の企画及び運営について、県内社協職員有志による企画委員会が組織化され、市町村社協を支える中堅職員に今必要な知識や課題について研修会等を企画しますので、研修会等の参加とともに、委員会への参画もお待ちしております。

研修内容及び日程については、企画が出来次第県内市町村社協に通知いたします。

【広報事業】

■ 会報「まなこ」の発行-----

会報「まなこ」は、本会が発足当初から、社協ワーカーとしての思考・視点で書き、社協ワーカーが地域で活動する上での思いや主張を語る場として発行し続け、全国の市町村にも送り続けています。

今後も、地域の中で福祉課題を抱える人たちの思いや地域の課題に取り組むワーカーの思いを伝えるために、発行したいと考えています。県内ワーカーの主体的な参加を促し発行します。

▼6月、11月発行予定

■ ホームページ、facebook の運営-----

県内社協職員の協力を得ながら、情報発信のツールとしてホームページの運営をしています。地職連の研修告知や広報誌『まなこ』のバックナンバーの掲載、各社協の活動等も発信できるようとなっておりますので、皆さんの活発な活用を期待します。

また、facebook については、タイムリーな情報発信のツールとして今後も運営を続けます。

【その他の事業】

■ 全国社協職員のつどい参加促進-----

令和元年度開催予定でした全国社協職員のつどいが新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し延期となりました。日程や開催方法については未定ですが、参加を希望する方については参加費用や旅費等の補助を出すようにしております。関西コミュニティワーカー協会より詳細が決まり次第お知らせします。

■ 福岡県社協との連携-----

広域社協である県社協との連携を深め、意見・情報交換の場を設け、課題を見据えながら必要に応じ研修会の共同企画などを行っていきます。